



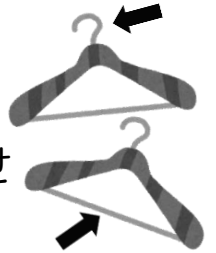
◎ごみの分け方・出し方 よくある質問！

Q1. “座布団”が大量にあります。粗大ごみに出せますか？

→A1. 座布団は「燃やすごみ」に出してください。数が多くても、一つひとつの大きさが燃やすごみ袋（大サイズ）に入るものは粗大ごみでは収集しません。

Q2. 木製ハンガーですが、フックと下の部分が金属になっていて外せません。分解しなければいけませんか？

→A2. 資源ごみの「金物類他（その他資源物）」にそのまま出すことができます。工具等で無理に分解する必要はありません。手で外せる・はさみで切れるものだけ分けてください。



Q3. プラスチック製の肥料袋を燃やすごみに出していいですか？

→A3. 家庭菜園で使用された肥料袋は、洗って乾かして「プラスチック製容器包装」に出してください。洗っても汚れが落ちないものは「燃やすごみ」に出すことができます。なお、農業で使用されたものは収集所には出せません。販売店または農協にご相談ください。

Q4. 粗大ごみ収集日が、天気予報で雨となっています。布団が濡れても出せますか？

→A4. 雨の日でも出すことができます。なお、濡れないように建物の陰に置いたり、他の粗大ごみと離れた場所に出されると見落として収集されないおそれがあります。濡れてもかまいませんので、通常どおり出してください。



※燃やすごみ袋(大)に入る大きさの布団は「燃やすごみ」です。

←昨年4月から分別辞典が新しくなっています。以前より文字を大きく見やすくした半面、紙面に収まりきれなかった品目もあります。

市ホームページ（WEB版）では冊子版には掲載されていない品目も調べることができます。右の二次元コードからご利用ください。→



◎野良猫等の侵入を防ぐ方法

猫は「人の出入りが少なく、静かで安心できる場所」、「気持ちよく排便できるためのやわらかい土や砂がある場所」、「簡単に餌を得られる場所」を好みます。猫が来ないようにするためには、猫が「好む場所」から猫にとって「居心地の悪い場所」に変えることが必要です。

犬や猫の動物が苦手な人やアレルギーで近寄れない人もいますので、猫が家の敷地に入っただけでこられないようにする方法を一部ご紹介します。

1. 進入路をふさぐ！

猫は狭い場所を好み、家の軒下や納屋などに入り込むことがあります。進入路と成り得る隙間や通路を物理的にふさぎましょう。



- ・とげ状シート、砂利、園芸用の灰：足元が不快に感じたり、汚れることを嫌います。
- ・ネットを張る、割り箸を地面にさす：猫の通り道を物理的に歩きづらくします。

2. 猫の苦手なものを活用！

①水：猫は水に濡れることを嫌うため、猫の通り道や糞尿をする場所へのこまめな水まきや、濡れ新聞を敷いてみましょう。

②臭い：柑橘類の皮やコーヒー、どくだみ茶等の粕を風上に吊るしたり、散布する、市販の忌避剤を散布するなど猫の嫌いな臭いを活用しましょう。

③超音波：市販の超音波発生装置を設置することも一つの方法です。ただし、超音波の届く範囲に限りがあり、猫が次第に慣れてしまうことがあります。



※効果には個体差があり、長続きしない場合や反復継続が必要な場合があります。猫にとって「居心地の悪い場所」と学習するまで何度も繰り返すことが重要です。

※猫は愛護動物です。虐待にあたる行為は法律で禁止されています。